

シハヌークビル多目的岸壁  
起工式

隈丸優次大使ご挨拶文（案）

（平成27年5月1日（金）8:00～、  
於：シハヌークビル港）

キアット・チョン 副首相閣下、

トーイ・チャンコサル 公共事業運輸省長官閣下、

ご列席の皆様、

本日は、シハヌークビル港多目的岸壁の起工式に出席させていただき、大変嬉しく思います。このたびの起工式を心よりお祝い致します。

また、この式典に、キアット・チョン副首相閣下をはじめとするカンボジア政府関係者の皆様、その他多くのカンボジアの皆様にご出席いただいていますことに感謝を申し上げます。

シハヌークビル港の建設は、カンボジアにおける日本の協力の中で、非常に象徴的な事業です。日本政府はJICAを通じて1999年以降、シハヌークビル港の港湾施設の修復・建設のための資金協力、ならびに港湾の効率的な管理と運営のため日本人専門家の派遣や技術協力を行って参りました。このたびのシハヌークビル港多目的岸壁の建設は、これまでの日本の協力を基礎とし、シハヌークビル港の施設を更に充実させるためのものです。

近年のカンボジアの堅調な経済成長を背景に、当国の、唯一の大水深港であるシハヌークビル港の取扱貨物量は、毎年 10%を超える増加を続けています。このように勢いよく、増大する需要に対応するためには新しい岸壁の整備が必要となりました。また、シハヌークビル沖合で開発が進められている石油の採掘に必要な資機材の供給ベースを強化することも必要となっています。このたびの多目的岸壁の建設がこれらの新しい需要にしっかり応えるものとなることを心から期待致します。

本年末にはASEAN経済共同体が誕生する予定であり、域内のネットワークの強化が進むことが期待されております。日本政府は、ASEAN連結性強化に力強く寄与することを念頭に、南部経済回廊を構成する国道1号線、国道5号線の整備、つばさ橋の建設やシハヌークビル港に対する支援を行ってまいりました。これからも出来る限りの、支援を続けていきたいと考えております。

最後になりますが、日本政府及び日本国民を代表して、改めて今回の式典に参加されている全ての皆様に感謝の意を申し上げますと共に、本プロジェクトが無事故で無事に竣工しますこと、及び、本プロジェクトがカンボジア社会経済の発展に大きく寄与しますことを心から祈念致します。

ありがとうございました。